

■ 市長から市民のみなさんへ

山陽小野田市長
白井 巧文



を行う「市民まつり振興会」をそれぞれ立ち上げ、「市民の手による市民役のまつり」の開催に努めてきました。この間、本祭の会場を平成 19、20 年は江汐公園，平成 21～23 年は市役所周辺および小野田駅前商店街，平成 24 年は市民館周辺と変更し，目玉イベントも毎年創意工夫するなど常に新しいアイデアを取り入れるとともに，近年は，かつての小野田まつ

りのパレードの復活を望む声にこたえて，沿道パレードも実施してきました。おかげさまで，



晴天時には 5 万人以上，雨天時でも 3 万人程度の来場者を迎え，当初の目的である「市民の一体感の醸成と協働のまちづくりの推進」に向けて，それなりの成果をあげることができたと思っています。

一方，本市では，全市的な市民まつりと並行して，各地域に根ざした伝統的なまつりや住民主体のまつりも意欲的に行われています。「厚狭秋まつり」，「若山公園・竜王山のさくらまつり」や「有帆市まつり」など伝統を継承したもののから，「寝太郎の里・有帆のほたるまつり」，「お祝い夢花火」や「おのだ七夕花火」など市民発想のものまで，いずれも意欲と活気にあふれ，関係者も来場者も心からまつりを楽しんでいる様子で，毎年の恒例行事として欠かせないものになっています。

また，産業まつり・小野田まつりの原型であるかつての「住吉まつり」が，昨年「復活！住吉まつり」として市民の力でよみがえり，市内外から 2 万人の来場者を迎えて盛大に行われました。高齢者にとっては昔を懐かしみ，若者にとっては地元の歴史と伝統を再認識するよい機会であったと思います。来年以降も継続されると聞き，とてもうれしく思っています。

これらのことを踏まえ，熟慮の末，今秋以降，「市民の一体感の醸成と協働のまちづくりの推進」の目的は，諸行事の中で引き続き取り組んでいくものの，「市民まつり」はいったんその役割を終えたこととし，新たに市制施行記念事業を 5 年ごとの節目の年（初回は平成 31 年度，その後 5 年ごと）に開催したいと考えています。平成 31 年度から取り組む記念事業は，市民まつりの目的である「市民の一体感の醸成と協働のまちづくりの推進」を継承し，「まちづくり市民会議・記念事業部会」を立ち上げて，企画・立案の段階から市民主体で行い，市民役の事業にしたいと考えています。ちなみに，前夜祭と称していました「お祝い夢花火」は，例年どおり開催されます。

過去 7 回の市民まつりに携わっていただいた関係者のみなさまのご苦勞に深く感謝いたしますとともに，記念事業への発展的変換の趣旨をご理解いただき，引き続きご支援とご協力を賜りますよう，よろしく願いいたします。